

# 兒童心理學文獻抄

十二

牛 島 義 友

## 幼兒の智能検査

學齡前兒童の爲の智能検査としては色々の検査があるが、こゝでは主要なる若干のものに就て紹介する。

智能検査はそれ々所定の規定を嚴重に遵守しなければならぬ故に實際に施行する場合には原著に就て研究する必要がある。こゝでは唯問題の輪廓のみを示して参考に供する次第である。

此の智能検査は系列的なものに單獨なものに區別する事が出来る。系列的ものは各年齢に相應した問題が系列的に配列されてゐて被検査者が何歳迄の問題に合格したかによつてその精神年齢を定めるものである。例へば次に示すビネー・シモン法では各年齢に六問宛の問題があり之を順

次に解決して行つて何歳の問題迄解けるかを調べる事になつて居る。

又此の種の検査は一人宛問答的に検査する事になり、所要時間も三十分乃至一時間である。之は元來ビネー（一八五七乃至一九一一）が創案したものでターマンによつて改訂され日本に於ては更に久保良英氏並びに鈴木氏が改訂して居る。之は小學生兒童を中心としてその年齢から低年齢の方に引下げたものであるが最近ビューラー及びヘッツェル並びにゲゼルの幼兒検査は乳兒から始めて幼兒の方にのばして居る。故に此の兩検査からこゝで問題として居る幼稚園兒に關係のある部分を拾ひ出して比較する事とする。

次に三歳から六歳迄の検査を示す。尙三歳兒の検査が全部出来れば、精神年齢滿三歳零ヶ月に應ずる事を意味す

る。以下同様である。

久保良英氏 増訂智能検査法 兒童研究所紀要第五卷

鈴木治太郎氏 實際的個別的智能検査法 昭和二年

Ch. Bühler, H. Hetzer: Kleinkindertests, 1932

A. Gesell: The Mental Growth of the Pre-school Child

1930

### 鈴木、ビネー・シモン法

#### 三歳兒

- 1、鼻、目、口、耳を指示せしむ。
- 2、茶碗、箸等日常事物の名を云はしめる。
- 3、男女の性の區別を云はせる。
- 4、繪の中の事物を三つ以上列擧させる。
- 5、家の名(中村太郎等)を云はせる。
- 6、丸、三角、四角等十個の形を區別させる。

#### 四歳兒

- 1、「今日はよいお天気です」「夏になると暑い」等の短文を反唱させる。
- 2、長短ある二線を比較させる。

- 3、四つの銅貨を數へしめる。
- 4、「お腹の空いた時如何しますか」等を尋れる。
- 5、正方形を模寫させる。
- 6、美醜一對の顔を比較させる。

#### 五歳兒

- 1、十三の銅貨を數へしめる。
- 2、三つの命令(茶碗を机の上に置き、窓を閉め、椅子の上の本を持つて來させる)
- 3、三五と十五瓦の同じ大きさの箱を比較させる。
- 4、四、七、三、九、等の四數を反唱させる。
- 5、二枚の三角形を以て長方形を作らせる。
- 6、用途定義(鉛筆は字を書くもの等の定義なさせる)。

#### 六歳兒

- 1、左右の手、並びに兩手の指の數を云はせる。
- 2、一錢、五錢、拾錢、五拾錢の貨幣の名を云はせる。
- 3、紐を蝶々結びに結はせる。
- 4、繪の中の遺漏を發見させる(目、鼻、等のない繪を見せて)。
- 5、右の手、左の耳、右の目を指させる。

## ビュラー・ヘツェル法

### 三歳児

- 1、衣服の釦をはめる
- 2、社會關係の理解(熊と箱と本とで遊んでゐる子供に繯を手渡し、子供が之を今迄の遊びに加へればよろしい)。
- 3、百枚宛の赤、黄のカードを分類する(三回迄催促してよい)。
- 4、眼の前にない物の名を云はせる。
- 5、記憶(本誌兒童心理學文獻抄、十、(三五卷八・九號)七十六頁参照)三個の中二個を見出す。
- 6、「小さな人形」等の文句を反唱させる。
- 7、積木の模倣(三個の積木で十字形を作つて見せ、あとで子供に模倣させる)。
- 8、積木遊び(水平、垂直の二方向の形を作ればよい)。
- 9、椅子を使つて筆筒から菓子をとる。
- 10、三角、半圓、十字、菱形の四枚の板を嵌盤にはめ込む。

### 四歳児

- 1、水の入つたコップをこぼさずに持つて行く。
- 2、繪を見せて畫中の子供がよい子か悪い子が判断させる。

3、前系列のカード分類を催促なしにする。

4、ビネー法の四歳児第四問と同じ。

5、記憶(四個の中三個を見出す)。

6、三つの數字を反唱する。

7、圓を眞似て描く。

8、積木で作つた物に名をつける。

9、釣から輪を外してコップをとる(二つの椅子を組でつなぎその紐にコップを通しておく。紐の端に輪がつき、椅子の釣にかゝつて居る)。

10、繪の解釋

### 五歳児

- 1、遊戲の規則を守る(碁石を順々に正しく並べる)。
- 2、碁石並べを競争して競争心の有無を見る。
- 3、三つの命令(ビネー法、五歳児第二問)。
- 4、記憶(五個の中四個を見出す)。
- 5、ビネー法五歳児第四問と同じ。
- 6、家、木、机の形を模寫させる。
- 7、自由に描いたものに命名させる。
- 8、玩具の鼠を係蹄に入れる遊び。

- 9、組立玩具で遊ばせ、その際道具を用ひるか否かを調べる。
- 10、ばら／＼におかれた頭、胴、手足で人の形を組立てさせる。

#### 六歳兒

- 1、双六遊びをなし、遊戲の規則の遵守並びに競争心の有無を調べらる。
  - 2、畫用紙の縁に圓、三角、十字の形を描きつけさせる。
  - 3、十六字の文を反唱させる。
  - 4、積木の複雑な形を模倣させる。
  - 5、自由畫を描かせ、何を描いたかが見て判ればよい。
  - 6、二匹の鼠を係蹄に入れる。
  - 7、紐を外して物をとる。(前系列のより一層複雑)。
  - 8、三枚の繪(犬の走つてゐる繪、犬が桌子掛けを引張つてゐる繪、卓子の倒れる繪)を見せてその因果的意味をのべさせる。
  - 9、繪の中の倒さまになつてゐる物を認める。
  - 10、五種の店の繪に澤山の商品の繪を正しく配置させる。
- 以上ビネーの検査法は總括的に智能の程度を検査測定する事が出来(智能指數により)るが、ビューラーの方法は更に智能の各方面の發達状態を知る事が出来る様になつて居る。即ち

感官知覺、身體運動、社會性、學習、材料處置、精神的生産の六方面から發達状態を診斷する事が出来る。

以上の外にも種々の系列的智能検査がありクルマンの検査はビネー法を一層發展させたものであり、ゲゼルの検査はビューラー法と相通じて居り、運動、表現、順應、社會的反應の四方面から乳幼兒の精神検査をなして居る。本邦に於ては恩賜財團愛育會に於てビューラー法を改訂した發達検査の作製を企圖して居り、又別個の立場から淡路博士が幼稚園兒童の爲の發達診斷検査を創案され筆者等も之に参加して近く完成公表の運びになつて居る。

以上の系列的検査と多少趣きを異にした検査が幼稚園兒童の爲に考案されて居る。之はアメリカに發達した國民智能検査等の様式に模して作られたもので記憶推理辨別等を調べる單獨検査を數個組合せて作製されて居る。幼稚園兒童の爲であるから文字は全然用ひず圖形のみで検査する様になつてゐる。今代表的なものとしてデトロイト幼稚園検査を示す。

Detroit Kindergarten Test. by J. Baker, and J.

## Kanmann

- 1、三日月、コップ、そりの繪を示し之に對して「空にあるものはどれですか」を尋ねる。之は事物の理解を見る。同様に兎、犬、鳥の繪の中から「飛ぶもの」を探させる。以下略。
- 2、上段には三種の鳥、下段にはその他にもう一種の鳥を加へた四つの繪が描いてある。而して上段にないものを指示させる。
- 3、帯の下の部分、同じく柄、及びシャベルの柄の三つを描いた繪を見せ、此の中相互に連絡のないもの(この例ではシャベルの柄)を指示させる。
- 4、右の方に中折帽子と鳥打帽子が描いてあり、左には手袋と足袋と女の帽子が描いてある。而して右の二つのものに似たもの(女の帽子)を指示させる。
- 5、左右の繪の異同を區別させる。
- 6、例へばナイフと櫛と刷子の繪を見せ、此の中二つは同目的に使はれるがあまり残りの一つ(ナイフ)を指示させる。

7、繪の中で間違つた所を探す。例へば差口の二つついた薬罐の繪に於て。

8、水泳、雪すべり、魚釣り、外套を着た女の子の四つの繪を示し、此の中から夏に關係あるものを選ばせる。

以上はすべて繪丈で問題が示され、各項目には各々三つ乃至六つの問題がある。之は幼稚園に入園する者の爲に一人一人につき検査するもので一人につき七分乃至十二分で検査が出来る。

同様の仕組みになつてゐるピントナー、カンニングガムの検査は更に集團的にもなす事が出来る様になつてゐる。

### Pinnaer-Cunningham Primary Mental Test

我國では本庄氏の幼児性能検査は幼稚園及び小學校下級の爲に考案されて居る。

本庄精次氏 幼児性能検査法 目黒書店

昭和九年

本検査は前記ピントナー、カンニングガムの検査を改訂、變容したもので五個の検査からなつて居る。

1、美感、巧拙の異なる三つの繪の中最も美しいと思ふ物を

さがさせる。

2、記憶 多くの繪の中から、前に讀上げたものをさがし出させる。

3、思考(原則發見) 一定の關係に並んだ繪(所々短くなる線が書並べてある等)の關係を見出して、其次を續ける。

4、思考(形態想像) 一定の形(四角、三角)を作るに必要な形の斷片をさがす。

5、觀察、比較 手本と同じ形を作らせる。

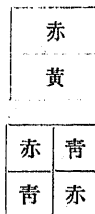
本検査は集團的になされるもので二千三百名の幼児について標準化されて居る。故に實用に供するのに便利である。その他石川氏は立方體構成検査並びに繪の敘述による簡易なテストを考成されてゐる。之は幼稚園入園、或は小學校入學の際に検査する爲に造へられたもので一人十分以内の短時間で検査する事が出来る。

石川七五三氏 兒童簡易テスト法、現代教育社 昭和八年

之を少し説明する。まづ立方體検査はコース氏(Kohl)の立方體を用ひる。之は各面は白、赤、青、黄、白赤、青黄

になつてゐる。之を四個組合せて手本通りのものを作らせる。手

本は



の三枚の繪で

ある。而して各手本を作るに要した時間により點數をつける。例へば五秒以内十點、十秒以内九點、二十秒以内八點の如く。

繪の敘述はビネー法のものと同様で採點は繪の中の物を枚舉した場合は一つに就き一點、狀態を敘述したもの(寝る、か坐る)は一敘述に三點、關係を説明したもの(病氣、か看病)も同じく三點を與へる。

以上の點數を合計して精神年齢を定める。

以上の外に尙自由畫を用ひて幼児の精神發達を検査する試みがグッドエナフ女史によつて試みられ、吾國に於ては桐原氏が標準化して居る。併し之は兒童畫の場合にふれる事にする。

桐原葆見氏 自由畫テストとその規準、

(幼年兒童の精神發達査定尺度) 山越工作所 昭和五年